参院選勝利へ　６５０万票　比例５議席実現
日本共産党国会議員団　東海ブロックニュース
2022年3月5日
第5号

日本共産党国会議員団東海ブロック事務所
名古屋市中区新栄三丁目十二番二十五号
電話　〇五二（二六四）〇八三三
ＦＡＸ　〇五二（二六四）〇八五〇
Ｅメール　tokaiblc@ybb.ne.jp

「核共有」議論あり得ない　井上氏
「国連・９条無力論」を批判　山添氏
ウクライナ問題で審議　参院予算委

参院予算委員会は2日、ウクライナ情勢等に関する集中審議を行い、井上哲士、山添拓両議員が質問に立ち、ロシアのウクライナ侵略を利用した核武装＝「核共有」の議論や「国連・憲法9条無力論」を厳しく批判し、政府を追い詰めました。

井上氏は、ロシアのプーチン大統領が核兵器の先制使用も辞さないと威嚇しウクライナ侵略を進めている問題で、「第三の戦争被爆地を生むことは絶対にあってはならない」との広島・長崎市長の連名の抗議文を示し、核兵器の使用も威嚇も許されないと世界に呼びかけるよう岸田文雄首相に求めました。

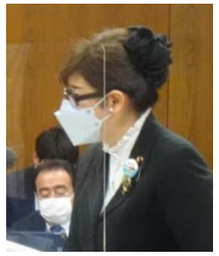
また、自民党の安倍元首相らが、米軍の核を日本に配備し、日米が共同運用する「核共有」（ニュークリア・シェアリング）を求めていることを厳しく批判。「非核三原則は、時の政権の政策にとどまるものではない。本会議決議をへて国是とされているものだ」として「与党内で議論・検討すること自体あり得ない」と指摘しました。

岸田首相は「（核共有は）非核三原則を堅持する立場からも、原子力の平和利用を前提とする原子力基本法をはじめとする法体系からも、認められない」と答え、明確に否定しました。

◆

山添氏は、ロシアの侵略行為に際し、「国連は無力」「９条で国は守れるか」などとした一部の議論をあげ「力には力で対抗が必要と言わんばかりだ」と批判。「戦争の違法化は二つの大戦を経た重要な教訓だ。力の論理を否定し、紛争の平和的解決を求めたのが国連憲章であり憲法９条だ」として、岸田文雄首相の認識をただしました。

名古屋入管　ウィシュマさん死亡　本村氏が追及　衆院法務委



本村伸子衆院議員は1日、2日と続けて法務委員会で、名古屋出入国在留管理局に収容されていたスリランカ人女性のウィシュマ・サンダマリさんが昨年3月6日に死亡した事件の真相究明を求めました。

本村氏は法務委員として昨年12月に開示されたウィシュマさんが亡くなる2週間前からの監視カメラ映像を視聴。そこで、「下半身がほとんど動かない状態だった。精密検査や根本治療が必要だったのではないか」と追及。また、有識者会議の「提言」（今年2月28日）で、適切な医療を行うことは国の責務としたとのべ、「収容者の健康状態が悪い場合、外部の医療機関も含めて根本的な治療を行うと約束してほしい」と迫りました。古川禎久法相は、「提言を受け止め、二度とあのような出来事がないよう努めたい」と述べました。

本村氏は、昨年2月24日のビデオでは、命の危機と言える深刻な状況があったにもかかわらず、昨年8月の入管庁調査チーム「報告書」は、「『体調不良で訴えた』としか記載しなかったことを批判。古川法相は、「すべてを逐一記載していない」など述べました。

ウィシュマさんの状況把握せず

2日の質問では、本村氏は、ウィシュマさんの映像記録で、食事をとっていないのに、調査報告書には「食べた」と書かれていると追及。丸山秀治出入国管理部長は、吐き出す場面があったことを認めたうえで、「3食とも看守勤務者の介助を受けて食べた」と強弁。本村氏は「食事を口に運ばれ、吐く状況を『食べた』とすることは異常だ」と厳しく批判しました。

また、本村氏は、名古屋入国管理局が尿検査の結果では飢餓状態だったのに、拒食者でないと本庁に報告しているとして、本庁が状況をしっかり認識していたのかと質問。丸山部長は、詳しい資料などの確認を怠ったと認めました。

本村氏は、診断書や検査結果などでウィシュマさんに命の危険があったことを把握せず、本庁がしっかり対応しなかったと追及。佐々木聖子入管庁長官は、昨年12月28日付の通達「体調不良者等に係る仮放免運用指針の策定について」に触れ、本庁が十分な対応ができなかったことを反省し、「改めるべきことは改める」と答弁しました。

たけだ議員・比例候補の街頭宣伝５日（土）

◆名古屋市北区▼14:15～あじまの家北側　▼14:35～喜惣治荘 3 棟北側▼15:15～六が池公園南側▼15:40～如意荘９棟南側

◆16：30～西区・浄心交差点～イオンタウン名西　練り歩き　ロシア糾弾！西区緊急行動

たけだ議員が質問３月７日（月）
16：11～　参院予算委員会
◆ウクライナ情勢と気候危機について　テレビ中継あり

愛知県東海市議選・２０日告示２７日投票・定数２２　●坂ゆかり５６現　●かとう典子７３新　（前回当選２）